

第3回長崎県がん診療連携拠点病院研修会 (アンケート調査結果)

開催日 平成21年1月24日(土曜日)

時間 12:30~15:00

場所 長崎大学医学部記念講堂

出席者 86名 回答者 35名

出席者の内訳

- ① 医師 14名(大学病院:8名 地域拠点病院:2名 他施設:4名)
- ② 看護師 18名(大学病院:8名 地域拠点病院:1名 他施設:9名)
- ③ 薬剤師 1名(大学病院:0名 地域拠点病院:0名 他施設:1名)
- ④ 臨床心理士 1名(大学病院:1名)
- ⑤ ソーシャルワーカー15名(大学病院:2名 地域拠点病院:11名 他施設:2名)
- ⑥ 事務 8名(大学病院:6名 他施設:2名)
- ⑦その他 27名

ケアマネージャー、患者会 主婦等・・・

今回の講演『相談支援の現状報告』、「しまねのがんサロンの試み」の内容について

① よかったところ

・長崎でも協働ができたという思いで聞かせていただきました。患者側からみると、大学病院の一部のドクターとナースが必死に頑張ってくださいでも病院のトップか体制かが動くのが難しいかなと残念に思ったりします。長崎でも行政も動くような働きかけが大事なのでしょうか。島根サロンのスタッフの方完全ボランティアで時間を作っていた事に使命感を感じました。患者も数年経つと、元気になり、仕事などで忙しく、同じような活動はむずかしく思いました。感心というか自分はどうすべきか考えさせられました。

・他県の状況を知る事ができ、現実的な活動を知る事ができた

・患者さんの生の声、がん告知からの心理的動揺など一部わかったような気がします。自分自身が勉強する必要を強く感じました。(病気・治療にだけでなく患者心理を知る事が大切だと)

・活動内容がよくわかった。

・患者さんと医療関係者の関わり方

・”がんサロン”について、また、サロンをサポートする方々の生の声が聞けてよかったです。発起・マンパワー等、困難な事も多いと思いますが、事後と上参考になりました。

・雰囲気はほのぼのとしてよかった。

・がんサロンと患者会の違い。がん患者・家族のサポートの場・運営等を直接聞いたこと。患者の生の声が聞いたこと行政のかかわり・支援の大切さ。自分の職場の課題を認識させられた。患者自身の声をひろいあげる(?)または言える場をどう今の職場で持ち、それを受け止め支援していく体制をもつかなど。

・「がんサロン」について具体的な話を聞いたところ。(特に立ち上げ時には様々な抵抗があった上での現状に至っていること。)

・実際に患者様と接しているが、患者がどのように考えているのか、具体的に知る事ができて今度の相談業務の中で生かしていけるのではないかと思う点がありました。

・がん患者支援が広がりつつあることがわかりやすく説明されていました。患者サロンがあることで相談できるネットワークが広がっていると感じました。

・現状がよくわかりました。患者会とは別のグループの存在を知ることができました。

・佐世保病院では積極的に地域に広報を出しておられることがわかった。島根のがんサロンの話は感動しました。医療者のかかわりが良く見えました。同じようには出来ないと思うが参考にしたい

・相談支援の現状報告が聞いて参考になった。がん患者の当事者の声が聞いてよかった。

・他院の現状が理解出来てよかった。患者様の意見が聞いてよかった。

・サロンという存在をはじめて知った。

・患者会、サポートグループ、サロンの違いを学ぶ事ができ勉強になった。

・実際の患者さんの生の声が聞いたこと、患者さんのたくましさを実感しました。

・他の病院の相談の現状が聞いたこと、サロンについてお話が聞いたこととても興味があります。

・声のとおり・生の声

・現在の活動・活発な意見を聞いてよかった。医療者はやはり、片側の人間だから向かい側の患者の立場を知る事がとても大切だと思うに自分も患者になるかも知れないですし、人ごとではないかも。

・現在の活動・活発な意見を聞いてよかった。医療者はやはり、片側の人間だから向かい側の患者の立場を知る事がとても大切だと思うに自分も患者になるかも知れないですし、人ごとではないかも。

・患者さんの感情を生の声で聞くことが出来よかったです。痛みは痛みを感じた人でないと十分な理解が出来ないので患者同士のピアサポートの機会が長崎でも広がるとういなどと思いました。

・私の中では、がん相談の分野はまだ未知の部分なので、相談支援の現状報告やサロンの話など今後、相談を受けたときの情報提供のひとつになった

・講義の中である松本さん原さんの掛け合い(対談)がとてもわかりやすく、且つ面白くてよかったです。患者さんと医療従事者でここまでの絆が築きあげる事が出来るのだ、という事がわかりました。お互い努力されているのだろうなと感じました

- ・直接現場の声が聞けてよかった
- ・サロンというものの内容を良く知らなかったので話を聞けてよかった。
- ・相談支援の充実が各拠点にもじょじょに進んでいる。ハートフルサロン→押し付けではなく自分たちが中心である事。
- ・病院長、市長のように医療者・行政との協働の形は素晴らしいと思う。サロンの会が病院の中にあるのはうらやましかった。
- ・長崎県の現状と島根県の現状がわかりました。
- ・サロンで集まっている人達がとても明るく感じました。(患者同士でなければ分かり合えない事もあります)
- ・①サロンの説明ではなく、ない地域にはどのようにしたら作っていただけるものなのか医長やソーシャルワーカーのリーダーの方がいらっしゃらないと出来にくいように思われます。

② 気になったところ

- ・演者に座を任せすぎでは。フロアからの発言も少ない事もあると思うが、関連した内容の全国データなどの紹介もあると面白いかも。
- ・演者が暗いところに立たれていて残念でした。サロンのような場所の運営・維持の難しさを感じた。(かといって構えすぎても良くないのかとも。
- ・サロン立ち上げの具体的な方法
- ・出席者が少ない事。
- ・参加人数に対し、会場が広すぎた。
- ・MSW も人手不足でこれからも大変そうですね。件数増加に伴い人員補充されるよう願っています。
- ・がんの相談件数のカウントの仕方が各病院で異なるという事が気になりました。今後統一する必要があると思います。
- ・サロンについて→心理的サポートを目的としたグループだと思いましたが、グループ療法、SHG・・・どのような形が望ましいのか？
- ・がんサロンの運営資金はどうなっているのか？病院側の具体的なサポート内容はどうなっているのか？(病院として出来る協力をより深く知りたかったです。
- ・長崎でもサロンできないものか
- ・相談の内容で診療や治療に関しての相談が結構あったと思うのですが、具体的にどんな内容でどう答えているのかお聞きしたかったです。
- ・長い
- ・サロンの位置づけ、人に知らせていく方法、アプローチの仕方が素晴らしい
- ・サロンのお世話をしてくださる方々のご苦勞は(時間的・ご家庭・ご家族) 大変ではと思いました。

- ・心のケアが一番なので経験談をたくさん聞かせて頂きたかった。

③ 講演に対する要望

- ・フロア側の事前学習が必要か。わがままをすみません。
- ・患者会の方の実際の経験談・看取りについての当事者の声
- ・有意義なお話でした。多くの方に参加してほしい。もっと宣伝を。
- ・ちょっと長かったです。
- ・先生方と患者の壁をなくし理解できるような（患者が）言葉で先生方との関係を持たせていただきたい。

次回の講演で希望すること

- ・まだまだ勉強する事がいっぱいということがわかった
- ・マスコミにもアナウンスした方がよろしいかと思いました。
- ・平日の 18：30～21 時ごろまでを希望。
 - ・県北地域でもお願いしたい。
 - ・13：00 からの方が出席しやすいですね・・・。
 - ・緩和ケアチームの活動状況が知りたい。
- ・時間は出来れば 12：30 からではなく 1 3 時で対応してもらえると助かります。とても寒かったので次回からは改善してもらいたいです。
- ・患者様とのコミュニケーションスキル
- ・患者会に関すること
- ・平日
- ・今後、長崎で取り組むがん対策について具体的に行政から説明してほしいです。
- ・ピアカウンセリングをやっている方・取り組みをしているところがあれば話しを聞いてみたい。
- ・次はこんな寒いようなときや夏の暑いときは避けてもらいたい。病人は参加をためらう。
- ・いつでも結構です。参加させていただきます。宜しく申し上げます。

がん診療センターに対する要望

- ・ありがとうございました。勉強になりました。
- ・がん登録分野の情報交換などの開催を希望いたします。(放影研：地域がん登録も含め)
- ・乳がん患者の会はあちこちの病院に出来ているがすべての患者の会を総合を作ってほしい。患者は患者によって励まされ元気付けられる力は大きい。もちろん医師の姿・癒しの言葉で生き抜こうと思う気持ちは高まる。

- ・今日はありがとうございました。
- ・乳がんからの転移が私の場合、3箇所ありますが(現在) そのような経験談をもっとたくさんお尋ねしたかったです。